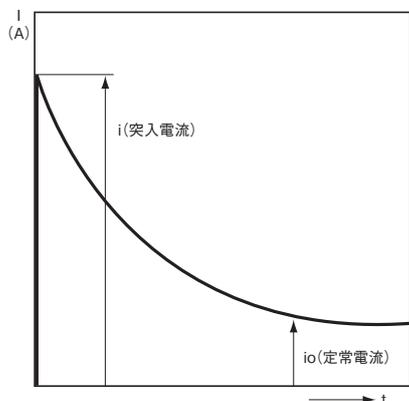


●各商品別の注意事項は、各商品ごとの「正しくお使いください」をご覧ください。

安全上の要点

- ・非常停止回路や人身事故につながる安全回路のスイッチとして使用する場合、直接開路動作認定タイプを選定し、直接開路動作機構を有するNC接点側を使用し、ポジティブモードで動作するよう設定してください。
また、安全のために、スイッチが容易に取りはずしできないようなねじあるいはそれと同等の手段によって取りつけてください。または、防護カバーや警告表示をつけてください。
- ・配線作業時は通電しないでください。
- ・負荷電流は必ず、定格値以下でご使用ください。
- ・取り付け調整後は必ず動作確認を実施してください。
- ・通電中は端子に触れないでください。感電の恐れがあります。
- ・アース端子付きスイッチは必ず、アース線を接続してください。
- ・通電中は分解しないでください。感電の恐れがあります。
- ・スイッチの耐久性は、環境条件、開閉条件により大きく異なります。使用にあたっては必ず実使用条件にて実機確認を行い、性能上問題のない開閉回数内にてご使用ください。
性能の劣化した状態で引き続き使用されますと、最終的には、絶縁不良、接点の溶着、接触不良やスイッチ自体の破損・焼損の原因となります。
- ・配線終了後に適切な絶縁距離を確保してください。
- ・負荷の種類によって、定常電流と突入電流に大差がある場合があります。許容突入電流値内でご使用ください。閉路時の突入電流が大きいほど、接点の消耗量、移転量が増大し、接点の溶着、移転による接点开離不能、絶縁不良など規定の性能を損なうばかりでなく、スイッチ自体の破損・損傷の原因となります。



●配線方法について

各端子への誤配線は絶対にしないでください。
誤って使用されますと、スイッチとしての機能が発揮されず、外部回路へ影響を与えるだけでなく、スイッチ自体の破損、焼損の原因となります。

●取り付けについて

- ・アクチュエータの加工をしないでください。使用上加工されると動作特性など性能の変化が発生します。
- ・取り付け穴の拡大など、スイッチ本体に対する加工は絶対に行わないでください。絶縁不良やハウジングの破損および人身事故につながる原因になります。
- ・取り付け調整後は必ず、動作確認を実施してください。
- ・アクチュエータなどの摺動部へ、オイルやグリスなどの潤滑剤を使用しないでください。摺動性の低下や内部への浸入にともなう不具合の原因になります。
- ・取り付けねじは、指定の大きさをうい、平座金、ばね座金などを使用して堅固に取りつけてください。その際の締めつけトルクは規定の値に従ってください。パネル取り付け押しボタン形では締めつけトルクが過大な場合にはアクチュエータの摺動不良の原因になります。
- ・コンジット口には異物、切削くずなどが侵入しないように配管してください。
- ・接着剤、ロック剤などをご使用される場合には、可動部へ付着しないようにしてください。また内部に浸入すると動作不良、接触障害など発生する原因となりますのでご注意ください。種類によっては有害ガスを発生し悪影響を与える原因となりますので、十分ご確認のうえ選択してください。
- ・落下させたり、内部を分解したりしないでください。特性を満足できないばかりではなく、破損・焼損の原因となります。
- ・ヘッド方向変更が可能な機種においてヘッド方向を変更する場合には、シール性確保のため異物付着をさせないでください。また、ヘッド取り付けねじは各機種毎の適正締めつけトルクで均等に締めつけてください。
- ・異物の侵入や油水の浸入を防ぐため、正しいコンジット処理をしてください。特に使用環境やケーブル径に合ったコネクタの選定と正しい取り付け、適正締めつけトルクで処理してください。
- ・押し込み状態において、アクチュエータに振動・衝撃を印加されますと局部摩耗を生じ、アクチュエータの動作不良に至りますので、このような使用は行わないでください。

●配線方法について

- ・配線方法が悪いと、ひっかかりを生じたりリード線にひっぱりが加わります。配線を変更してリード線に余裕をもたせ途中を固定してください。



- ・各端子への誤配線は絶対にしないでください。
誤って使用されますと、スイッチとしての機能が発揮されず、外部回路へ影響を与えるだけでなく、スイッチ自体の破損、焼損の原因となります。

使用上の注意

- 詳細は、「リミットスイッチ テクニカルガイド」の「リミットスイッチ 使用上の注意」をご覧ください。